

# 「まちづくりの提案」 プレゼンテーションへのご意見・ご感想

## 「着地型観光を目指して」の提言

### 「観光」グループ

- とても良い発表でした。現状の把握・原因分析・対策とステップがしっかりしていて内容がわかり易かった。対策も具体的に3つ盛り込まれており実現性もあり良かった。特に点では無くブロック（面）で観光を考えられたのは、すごいと思いました。
- 体験型観光は着地型の方法としてどこの市町村でもやっている事ですが、似たようなもので差別化が難しいと思います。宿泊していただく為には、その宿泊地（温泉等）が魅力ある事が一番の方策かと思います。小野川温泉の巡りの例は非常に同感です。
- 最近の観光において必要なのは、参加型・体験型だと再認識しました。単に「見る」だけで無く「観る」ためには地域に入り込んで体験してもらう事（体験・提供する側ともに、「付加価値」を得られる事）が大切だと思います。市民と行政の「協働」の視点としては、市民による企画・実施という部分だけでなく、行政の役割として挙げられた「集約とPR」というところで一緒に取り込む事により、協働の相乗効果が上げられるのではないかと思います。ぜひ協働提案制度で提案してほしいと思います。
- マラソン参加者等の人集めは、貴重な案で尊重して可能にする事が大切だと思う。
- 少しでも米沢に長く観光してもらうには？  
体験町歩き？ → バスを利用してブロック化観光 → かくれた良いお店  
小野川歩き観光・協働による取り組み・海外観光客を注目・1次、2次、3次産業との観光活性化。
- 天地人、ドラマ後の観光のあり方の考えかたは良いと思う。
- まちあるき必要です。
- おしよしなマラソンの町内コースを考える。→ 面白いコースあり。
- 宿泊数に市内のビジネスホテルも入っていますか？
- 提言は素晴らしいと思いますが、主体だけがはっきりしていて客体がイメージできないので、絞り込みが必要なのでは？
- 現状把握をもっとすると良かった、小野川とその他の温泉との比較などニーズを考える。お客様の年齢層などのターゲットを明白にすると、もっと良いものになると思います。
- 宇賀神さんのプレゼンはよかったのですが、なぜ一人だけでやられたのでしょうか？  
スライドのコマ送りの時にタグをいちいち出されたのは、うっとうしかった。
- タイトルがさりげなく変わっていましたね。
- どうすれば滞在型観光が可能になるのかが、よく分からなかったです。
- スライドの地図が細かすぎてほとんど見えませんでした。

- レクチャーとスクリーンとが“遊離”していました。プレゼンの技法に改善の余地大です。お客様の年齢層などのターゲットを明白にすると、もっと良いものになると思います。スクリーン上の説明を基本にすべきです。

## ※第2グループ

- 客体はしっかりイメージできますが、課題の探し出しが大変だと思う。
- 何が問題なのか？そこが不明瞭だったので、市民マラソンを通じた観光資源の意義がボケて伝わりにくかった。

### 「耕作放棄地の農産物加工品と農家レストラン」の提言

#### 「農業」グループ

- 農家レストラン等の出店をきっかけとして、地域内の他の飲食店も地産地消していくような生産者側などが、自信と誇りを持ってプロ意識で食材を提供していけるような流れが出来れば、理想的な需要と供給のバランスが出来ていくのかなと思いました。  
最初の現状説明で食糧自給率の話がありましたか？これは、国の政策的問題が非常に大きいような気がしますが、今回の提案に関しては米沢の食物・加工品などにいかに付加価値をつけるかという点に課題が集約されるのかなと思いました。
- 放棄地を活用するとの発想が素晴らしい。実現可能にするには、農業者だけに限らず成功の3要素の1つ「よそ者」からの提言も（広く意見を聞く）是非、実現して欲しいテーマです。  
多くの知恵が必要だと思います。  
佐賀のマッチャンの店も参考にして、それ以上の良い要素（安く提供できる）。
- 地域農業の創出・・・まちなかカフェレストランを考えてみた → 良いと思う。
- 米沢の産物を使ったごっつお → 単独ではなく複合として考え、図書館・ギャラリー他
- 中央の複合を考える会を立ち上げてもらいたい。
- コーディネーター？ → 市民の中からも募集したらどうか？
- 耕作放棄地の解消は、簡単な事ではなく非常に難しいものです。農家レストランについては、マーケティングが重要であり、いかに民間の力が出せるかが課題だと思います。
- 女子短に有名シェフを招集して一流シェフを多く作り米沢食材レストランをまず繁盛させる。
- 農業を取り巻く環境や放棄地のデータ等、現状の把握が行われて良かったが、そこから「農家レストランが必要になる」というロジックが分かりにくかった。後半、期待される効果が書かれていたが、これらが先に説明がなされて、これを実現させる為に農家レストランを行うという組み立てなら分かり易かったと思う。  
どこが悪い？なぜ？どうする？を踏むと分かりやすいと思います。
- 地元の人々をお客とするのか？観光客をターゲットにしてるのか？採算をも予想した提言が必要ではないでしょうか。

- プレゼン技法がいまいちでした。スライドが見にくい（色の使い方が不適切）色の濃いバックに黒い文字はないでしょう。
- 農家レストランをひらくと、どうして「活気あふれる憩いのまち」になるのかが、よく分かりませんでした。説得力あるストーリーが欲しかったと思います。

## 「里山を活用した地域づくり」の提言

### 「地域づくり」グループ

- 全くその通りです。村が滅びれば、まちが寂れ、都市が衰退します。  
国やぶれて山河荒れるではどうにもなりませんね。
- 里山は水と空気を作るところ、大きくたいへんな取り組みです。この活動を進めるリーダーも必要でしょう。ボランティアも募り活動を続けてほしいです。
- 里山の魅力については、非常によく伝わりました。地域の中にリーダーとなるべき人がいるかという点が疑問です。（全てのところで）また里山と農業は切り離して考えていくのがすっきりします。
- 具体的な活動を始めている事が素晴らしい。  
地域のモデルとしてぜひがんばってもらいたい。
- たとえ限界集落（イメージが悪すぎてあんまり使いたくない言葉です。元気な限界集落もあるので・・・）あっても地域を魅力あるものにしていく取り組みは地域住民のモチベーションをあげ、ときに付加価値を見だし結果的には人を引き寄せる可能性もあり大切な事だと思いました。難しいのは、全国どこの里山も、山のふもとに集落があって、田んぼが広がっているという画一的な景色の中、その地域の個性（しかも特徴的なもの）を見出す、また作り出す事だと思います。いかに地域を知るか、そして認めていくか、それを地域住民に広げる事ができるのか、という事がはじめの一步として重要なんだろうと思いました。（水俣市の例も参考にいただければ・・・）
- 南原の皆さん — 自然がいっぱいの所なので大切にしたい、西向沼など！  
里山が必要であり動物、植物、人間にとっても里山を守り、特に動物の為、そして水源を守る為に！空気を守る為に何かが必要！  
最上川の源流の場として、自然を守る事を考えよう。→ トヨタ財団
- 分かりやすいプレゼンだった。
- なかなか難しい課題だと思いますが・・・。
- 研究の方向性、心意気、プレゼン技法の優れた面を、講座全体で（他の班にも）共有化できるとよかったですね。

- メンバーがいないのは残念でした。しかしながら多くの研修を受けられたと思いますのでその成果をぜひ、今後に活かしていただければと思います。
- 雪囲いは良いな！
- 人材養成講座の基本ですね。

※市民協働条例に活かすか → 提案についてプログラムを組むのか？